

曾我部博隆市議 の不登校、公立保育園の存続、 の統廃合を質問 小学校

12月定例議会の一般質問が12月10日から12日まで行われ、曾我部博隆市議が11日に、服部俊夫市議が12日に質問しました。

曾我部市議は①不登校対策、②公立保育園の存続、③小学校の統廃合を取り上げました。
①②の内容を紹介します。

曾我部市議は不登校の児童生徒が増えている問題を取り上げ（左グラフ参照）、どう対応するのか質しました。

教育部長は「魅力ある学校づくりが重要」として、居場所のある学級づくり、校務支

「生きる権利がある」

援員等の配置、別室での学習支援など、子どもがより安全に過ごせる学校づくりをすすめると答弁しました。

曾我部市議は「子どもには生きる権利がある」ことを明確にするべきだと強調しました。

保護者や国には子どもに教育を受けさせる「義務」があります。が、「心が折れた子どもには休息の権利」があります。

経済的支援も重要

また「不登校離職」で収入が減り、フリースクール等を利用すると負担が大変です。費用・交通費の一部負担を検討する必要があります。

不登校が「介護休業」の対象になることを周知するとともに、年単位の「不登校休業制度」の創設も必要です。

教育予算増やし 少人数学級を

学校に対しては学習内容を

精選し、授業時数を減らし、全国学力テストの廃止、教員を抜本的に増やし、少人数学級になるよう国に求めることを要求しました。

市立保育園は20から11園に これ以上減らすな

合併時に20あった市立保育園を旧稲沢市で4園、祖父江町で2園、平和町で3園を休廃園し、現在は11市立保育園が残っているだけです。

大規模園でインクルーシブ保育は無理？

昨年から障がい児などをすべての保育園で預かるインクルーシブ保育を行っています。曾我部市議は、定数150を超える園では情報共有の面でもインクルーシブ保育は難しいと指摘しました。

祖父江・丸甲保育園 もなくなる？

祖父江町にある領内保育園を2027年度から取り壊し、31年度に（仮称）祖父江東保育園として定員200→250でオープンする予定です。

オープンのあわせ、現在稼働中の祖父江・丸甲保育園、また休園中の長岡・山崎保育

市の計画	年度	2026	2027	2028	2029	2030	2031
領内保育園	年度末閉園		解体設計・工事				
（仮称）祖父江東保育園			基本設計・実施設計	整備工事		供用開始	
山崎保育園	受入準備		領内保育園在園児受入		年度末閉園		
丸甲保育園							
牧川保育園			大規模改修工事			園名変更	
祖父江保育園					年度末閉園		
長岡保育園	休園中						

園も廃園にする計画です（右表参照）。

また牧川保育園も大規模改修して、（仮称）祖父江西保育園として出発する計画です（定数を120→140にする）。

私立祖父江幼稚園は認定こども園になる予定で、祖父江町内は2公立保育園、1私立認定子ども園になります。

子育て支援をいいながら、保育園を減らしていいのか、問われます。